

みんなのかんきょう

55

—Contents—

特 集 2～4

未来へつなごう—元気な森 元気なふるさと
～全国植樹祭をきっかけに ふくいの森林を知り、親しもう～
もり

私達の活動紹介 5

大野市立陽明中学校
越前海土里の環境ネットワーク(越前町)

協議会事業報告 6～7

環境クイズ 8

写真・「瓜割の滝」
—若狭町—



環境ふくい推進協議会

はじめに

福井県は、県土の約75%を森林が占め、自然環境に恵まれた地域です。あまりにも身近にあるため、つい見過ごされがちですが、森林は、私たちが快適な生活をしていく上では欠かすことのできない重要なパートナーです。近年、地球規模での異常気象による自然災害の頻発や、人類に影響を及ぼす環境の変化などが問題視されていますが、ここでも、森林の持つすぐれた機能に大きな期待が寄せられています。

森林の機能と恩恵

主に人間の営みに起因した温室効果ガス（二酸化炭素）の増加は、地表気温の上昇（地球温暖化）をもたらし、100年後には約6℃もの気温上昇が予測されています。すでに、水不足や食料生産の減少など、様々な側面への影響が懸念されており、特に北極や南極の氷が解けて起こる海面上昇は、人類の生活に大きな影響を与える可能性が指摘されています。

これに対し、森林は地球温暖化の原因である二酸化炭素を吸収し貯蔵する働きがあり、地球温暖化の防止に大きく貢献しています。

それ以外にも、森林は、樹根が土や石を保持して山崩れなどの発生を抑える機能や、落ち葉

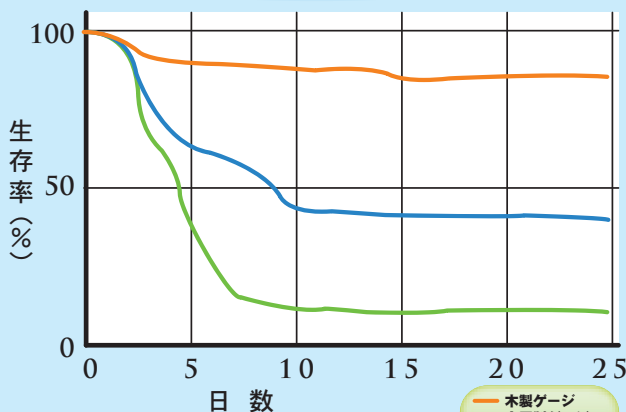
二酸化炭素排出量と森林の二酸化炭素吸収量



資料：岐阜県収獲予想表

豆知識 長生きできる木の空間

マウスを使って実験した結果、金属やコンクリートの飼育箱で生活したマウスに対し、木製の飼育箱で生活したマウスの方が高い生存率であるという結果が出ています。



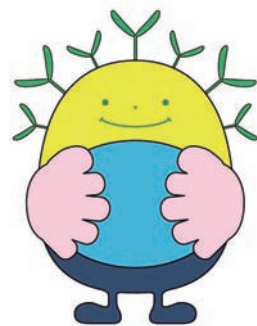
資料：伊藤 他 静岡大学農学部 報告(1987)

第60回全国植樹祭を契機に

このように森林の重要性がさらに注目される中、平成21年春には、本県で第60回全国植樹祭

揮されるためには、森林そのものが元気であればなりません。そのためには、適正な管理と施業（山の手入れ）が重要です。それには、森林所有者はもとより、森林の恩恵を受けている私たちが森林ボランティア活動などを通じて山へ入り、元気な森林へと導くことが必要です。

が開催されます。この全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるため、毎年春季に天皇皇后両陛下ご臨席のもと開催される行事で、本県では、「未来へつなごう 元気な森 元気なふるさと」をテーマに、天皇皇后両陛下のお手植えをはじめとした式典や参加者の植樹、森林散策などの体験型イベントなどが行われます。実に47年ぶりに本県で開催されるこの全国植樹祭ですが、県ではこれを絶好の機会ととらえ、「元気な森 元気なふるさと」の実現を目指し、次の3つの県民運動を展開しています。



ふっくりん
【シンボルマーク】

ますので、ぜひ一度ご覧いただき、実際に訪れてみてください。(「ふくいの名木・名花」ブックは、図書館、公民館のほか、福井県の全国植樹祭ホームページからもご覧いただけます)

また、地域の自然や文化、歴史などの「ふれあい」を楽しみながら森林を散策するフットパス(※1)コースや、



【フットパスの散策】

「ふくいの名木・名花」スタンプラリーコースを県内各地に設定していますので、ぜひお出かけください。地域の誇りとなつていく木や親しまれていく木と出会い、豊かな自然を再認識することで、身近な地域資源の魅力や森林

の癒し効果などを体感できるでしょう。

自然の恵みを知り、積極的に森林に親しみ、その大切さを実感して伝えていくこと。それが、元気な森づくり、元気なふるさとづくりへの第一歩です。

②元気な森をつくる運動

二酸化炭素の吸収をはじめとする多様な機能を持続的に発揮できる元気な森を維持するためには、間伐(※2)などを通じた健全な森づく

くりの推進や、伐採↓植林↓保育という森林資源の循環を促進するための間伐材の活用などが、とても大切です。

《積極的な間伐の実施》

戦後、緑豊かな県土を築くために植林された木々は大きく成長し、その多くが間伐が必要な森林となっています。このまま間伐をせずに放置すると、木々はモヤシのように細長く成長してしまい、積雪や強風などの影響で折れやすくなるなど、元気な森を維持することが難しくなります。このため、県では造林事業などを活用し、積極的な間伐を推進しています。



【適正な管理と施業がされた元気な森】

《間伐材の活用》

間伐材を有効に活用することも大切です。積極的に間伐材が使われれば、森林資源の循環(伐採↓植林↓保育のサイクル)が図られ、林業の活性化が期待されます。また、木や森林に関心を持つ人が増え、それが森林レクリエーションや森林ボランティア活動の活発化につながれば、山の手入れが進みます。昔から、間伐材は身近な生活資源として薪や



【ふくいの名木・名花ブック】

「ふくいの名木・名花」ブックです。これには県内各地の名木・名花が紹介されてい

①「健康長寿ふくい」の自然を知り、伝える運動

私たちの身近にありながらも、なかなか「ふれあい」機会が少ない森や山ですが、まずは森林にふれるきっかけづくりが大切です。そのひとつとしてご活用いただきたいのが、今年5月

炭などに利用されてきました。木は、加工することで身近な生活資材として十分利用することができま。まずは、各地で開催されている木工教室などを通じて木の魅力を実感し、木を身近に感じてみてはいかがでしょうか。



【木工教室で木の魅力にふれる】

《企業の森づくり》

近年、二酸化炭素を吸収する森林の機能に着目し、社会貢献活動の一環として植樹活動などを行う企業が全国的に増えてきています。

福井県でも、昨年10月に、㈱NTTドコモ北陸が勝山市平泉寺町にブナやミズナラなど117本を植栽し、「ドコモ勝山平泉寺の森」を造成しま



【ドコモ勝山平泉寺の森づくり】

した。このような企業による積極的な活動は、地球温暖化防止につながるだけでなく、幅広い方々によって森づくりがサポートされる点で、とても大きな意味を持っています。

県としては、今後も更なる「企業の森づくり」を推進していきます。

③花と緑にあふれるふるさとをつくる運動

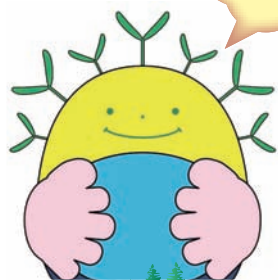
私たちが生活に誇りを持てる街並みや景観をつくるため、身近なところで四季折々の花木を植栽し、ふるさとづくりに花と緑を活かす運動を進めています。

特に「クリーンアップ＆フラワー大作戦」の統一行動期間（6月1日～8日、9月7日～14日、3月15日～22日）にあわせて、地域での環境美化活動を行う団体や企業などへ花苗の無償提供を行ったり、初心者でも安心して花の栽培や花壇づくりができるように花壇アドバイザーを派遣したりと、積極的に花と緑を植栽する地域活動を支援しています。



【花と緑にあふれる地域づくり】

アクセスしてね!!



【全国植樹祭 HP】はこちら↓↓

<http://60shokujusai.pref.fukui.jp/>

（福井県農林水産部 県産材活用課）

おわりに

私たちが快適に生活するためには、環境との調和がとても大切です。持続可能な循環型社会を目指し、地球温暖化防止への取り組みが世界規模で進む中、森林の存在はさらに注目され、その整備・保全が課題となっています。

私たちができる始めの一步―まずは、ふるさとの森林に親しみ、理解を深め、守り育てることです。それには、私たち一人ひとりが暮らしと森林とのつながりを見つめ直すとともに、身近な森林資源を有効に利用することが重要です。これを機会に、これまで紹介した3つの県民運動をできることから実践し、継続してみてください。みなさんの活動の一つひとつの積み重ねが、ふくい「元氣な森」、そして緑にあふれる「元氣なふるさと」づくりの実現につながります。

私達の活動紹介



大野市立陽明中学校

破壊されていく地球環境に目をむけ、自分自身の生活スタイルを見直していくことは、現代社会における緊急課題です。また、地球を愛し豊かな自然を守り育てようとする心は、人間中心・自分中心の考えを捨て、他を思いやる心の延長線上にあります。

本校ではこのような理由から環境教育を重要な教育活動のテーマに据え、『陽明の森プロジェクト』を立ち上げました。そのメイン事業として、去る5月16日に『植樹in 六呂師』という行事を実施しました。全校生徒・教員そして保護者が、奥越農林総合事務所・大野市農林振興課・九頭竜森林組合・ライオンズクラブの皆様のご協力のもと、南六呂師生産森林組合所有の山をお借りして、1000本のコナラの苗木を植樹しました。



急な斜面で鍬を持つての初めての植樹作業ということで、生徒たちもかなり苦労しましたが、2本の苗木を自分の名前を書いた添木にしっかりとくくりつけ終わるころには、大きな仕事をやり遂げた満足感で、多くの生徒が輝く笑顔を見せていました。「やったあ。楽しかった。また来年もやりたい。」等の声もあり、この行事は、3年計画で1.5ヘクタールの斜面に3000本を植樹する予定です。一人一人の願いを込めたコナラの木が大きく育ち、緑の地球を守り続けてくれますように…。そして、生徒の心にも「地球のために今自分ができくことにチャレンジしていこう!」という思いが高まり、

日々の生活の中で様々なエコ活動に取り組んでいってくれることを、さらにはその輪が家庭に、地域にと広がっていくことを願っています。

(大野市立陽明中学校)



越前海土里の環境ネットワーク



のとぎ汁EM（有用微生物群）発酵液をつくり、これを流しやトイレに流せば汚れが落ち、下水管がきれいになります。プールの清掃、家の掃除、池、犬小屋のにおい取り等にも活用しています。



私達の住む越前町は、山あり、海あり、里ありで豊かな自然環境に恵まれています。この町が、水がきれいで、おいしくて安全・安心な米、野菜、魚がとれる住みよい町になって欲しいとの願いから、私たちは次の2つのことに取り組んでいます。

1つ目は、台所から米のとぎ汁を流さないようにすること。

2つ目は、生ごみのリサイクルとごみの減量。

米のとぎ汁は、そのまま台所から下水に流せばヘドロとなり、川や海の汚染につながります。米のとぎ汁EM（有用微生物群）発酵液をつくり、これを流しやトイレに流せば汚れが落ち、下水管がきれいになります。プールの清掃、家の掃除、池、犬小屋のにおい取り等にも活用しています。

次に、家庭から出る生ごみをボカシ（有用微生物発酵資材）を使って発酵させ、良質な堆肥づくりをしています。生ごみ堆肥の土づくりは、化学肥料や農薬を使用しないすばらしい野菜や花づくりができます。このようにして採れた作物は、「おいしい」、「安心」と、みんな収穫が待ち遠しいとはりきっています。また、こうして採れた野菜は、少しずつ学校給食に出せるようになりました。生ごみを可燃ごみとして出す人も少なくなってきました。



口コミで年々会員も増え、EMによる環境研修会、先進地交流会、仲間同士の情報交換などを楽しく定期的に行っています。

(越前海土里の環境ネットワーク会長 木下美恵子)

環境ふくい推進協議会事業報告

平成20年度 環境ふくい推進協議会 総会 を開催しました!!

6月13日(金)福井商工会議所ビルにおいて、「平成20年度 環境ふくい推進協議会 総会」を開催しました。
まず、平成19年度事業および収支決算について事務局から説明の後、監事から事業の執行および会計経理が適正に処理されているとの報告がありました。

次に、平成20年度の事業計画を下記のように決定するとともに、監事の交代と、新たに加わる3名(農業関係団体会員より1名、個人会員より2名)の企画委員の選任が行われました。

○平成20年度事業計画

I 環境保全活動促進事業

1. 研修会・交流会等の開催

(1) ふくい環境シンポジウム

⇒環境保全活動の普及とパートナーシップの拡大を図ります。

・開催時期：11月(予定)

・内容：環境保全に関する講演やパネルディスカッション等

(2) 環境パートナーシップ交流会

⇒県民、企業、環境NPO等が特性を活かしながら連携し、様々な環境問題に適切に対処できるよう意見交換会を開催します。

・開催時期：2月(予定)

・内容：テーマを設けての座談会形式の意見交換

2. 環境バスツアー

⇒県民を対象に、環境問題を様々な角度から考えていただけるような見学先をバスで巡ります。

・開催時期：9月(予定)

・内容：環境に関する取り組みの先進事例地を巡る(日帰り)

3. 環境アドバイザーの派遣

⇒会員企業が開催する研修会等への「福井県環境アドバイザー」派遣に対し助成を行います。(年5回程度)

4. 環境保全活動の啓発

⇒「クリーンアップふくい大作戦」を県・市町とともに主唱し参加を呼びかけたり、県等と連携し「LOVE・アース・ふくい」、「クール(ウォーム)ビズ」、「エコドライブ」、「グリーン購入」等の普及啓発を行います。

5. 環境情報の提供

⇒県内外で活動する環境保全団体等の情報やイベントを収集して情報紙で紹介するとともに、ホームページ、メールマガジンを通じてこれらの環境情報を発信します。



II 情報紙発行事業

「みんなのかんきょう」を年4回発行し、会員や学校、図書館、公民館、ショッピングセンター等に配布します。

III 表彰事業

環境保全活動に取り組んでいる個人、団体、学校、企業を表彰します。

IV 普及広報活動

マスメディア等との連携により、普及広報活動を行います。

V 会議等

総会・講演会、役員会(6月13日実施)、企画委員会(年5回予定)、表彰選考会を開催します。

○役員改選

新たに次の方が選任されました! よろしくお願いたします。

○企画委員 谷川 元孝 (たにかわ もとたか) 氏(福井県農業協同組合中央会)

中野 佐知子 (なかの さちこ) 氏(個人会員)

林 利夫 (はやし としお) 氏(個人会員)

○監 事 元井 澄男 (もとい すみお) 氏(福井県環境・エネルギー懇話会)

《講演会》

- ・講師 農林水産省北陸農政局 企画調整室長 中田 哲也(なかた てつや) 氏
- ・演題 『日本の食と環境』

★日本人の食生活の現状が大きな環境負荷を生み出し、それが地球規模の深刻な環境問題とつながっていることを、フードマイレージをはじめとした様々な視点からわかりやすくお話くださいました。私たちは、自らの食生活について早急に見つめ直す必要があることを改めて感じたお話でした。



カーボンオフセット

ちょっと気になる!!
環境キーワード

私たちがどんなに節電、節水、などのエコ活動をしなくても、どうしても排出されてしまう二酸化炭素があります。カーボンオフセットとは、この削減困難な部分の二酸化炭素（＝カーボン）について、他の場所で削減できた量を購入したり、削減プロジェクトを実施したりすることによって埋め合わせ（＝オフセット）しようという取り組みです。

そんなこと私たちにはできるのかな？と難しく考える必要はありません。例えば植林活動団体へ寄付をしたり、カーボンオフセット付きの商品やサービスを利用したり…。私たちが身近な暮らしの中でチャレンジできるものが、実はいろいろあるのです。

カーボンオフセットは洞爺湖サミットでも実施され、今後注目の地球温暖化防止活動のひとつ。インターネットでも豊富な情報が得られますので、検索してみてくださいね！



資源ゴミ分別用回収容器が寄贈されました

6月25日(水)に北陸コカ・コーラボトリング株式会社福井支社の松田支社長から、環境ふくい推進協議会に、資源ゴミの分別用回収容器70個が寄贈されました。

同社は、地域と密着した環境美化に取り組んでおり、昭和47年から毎年、空き缶入れや回収容器を寄贈しています。

当協議会に寄贈された容器はポリエステル製の折りたたみバッグ形式で、容量は200リットルあります。当協議会を通じて希望のあった丹南・嶺南地域の7市町（池田町、越前町、越前市、敦賀市、美浜町、若狭町、高浜町）に配布され、役場や公民館などの公共施設や、イベント会場などで活用される予定です。



読者の窓

前回号についてたくさんのおはがき、お手紙ありがとうございました。紙面の関係上、全部を掲載できなかったことをおわびいたします。今後とも、より良い情報紙とするため、みなさまのお便りをお待ちしております。

省 エネ製品をなるべく選んで購入しています。家の冷蔵庫やエアコンも昨年買い換えしました。最近はいまひとつエコを実践しています。私の行動を見て、友達も刺激されているようです。

(福井市 Tさん)

わ かりやすくして良いです。特に今回は、エネルギーの使用のところにゴミによる二酸化炭素排出量が書かれていたので、早速わが家の二酸化炭素排出量を計算しました。今後継続したいです。

(鯖江市 Sさん)

温 暖化防止、あらためて必要なことです。自分のできることからやらねばと思いました。1人1人の行動が大切なこと、もつともっと広く呼びかけたいです。

(坂井市 Uさん)

熟 読しました。具体的にイメージでき、大変心配なことです。このことを多くの人に認識してもらいたいです。情報と文字ばかりが先行しているようにも思えます。植樹祭をきっかけにして、子どもたちにもわかりやすい情報源を、今から考えてほしいです。

(福井市 Oさん)

い ろいろな団体、グループが環境の取り組みを実践している様子が参考になります。県内の活動を今後も紹介して下さい。

(福井市 Tさん)

環境ふくい推進協議会 会員募集 !!

環境ふくい推進協議会では、随時会員を募集しています。

環境問題に関心のある方、本紙『みんなのかんきょう』を毎号読みたい方、当協議会主催行事等の情報を知りたい方は、ぜひご入会ください。お待ちしております！

年会費

個人会員：500円

企業会員：10,000円

(1口以上何口でも可)

団体会員：無料

申込み・問合せ先

環境ふくい推進協議会事務局

(福井県環境政策課内)

TEL: 0776-20-0301

環境ふくい推進協議会からのお知らせ

メールマガジン

環境ふくい推進協議会では、環境に関するイベント情報をメールマガジンを活用し、タイムリーに提供することにより、会員相互の情報の共有化を図っています。

情報を発信したい方、受信したい方は下記アドレスまでご連絡ください。

⇒⇒⇒ E-mail: kankyou@pref.fukui.lg.jp

ホームページ

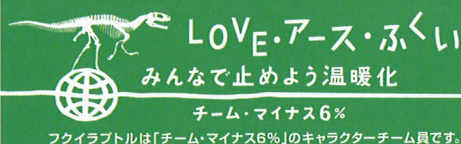
協議会の事業紹介やイベント案内、『みんなのかんきょう』のバックナンバーも掲載しています。

⇒⇒⇒ <http://www.erc.pref.fukui.jp/eco/kfs.html>

写真募集!

あなたの写真で、みんなのかんきょうの表紙を飾りませんか？
福井県内の自然の風景であれば、何でも構いません。
多数のご応募お待ちしております。

※採用された方には記念品を送らせていただきます。



フクイラブトルは「チーム・マイナス6%」のキャラクターチーム員です。

チャレンジ!!

環境クイズ

今回は「森林資源」がテーマです。全問正解めざしてチャレンジしてみてくださいね。御応募お待ちしております!

第1問 福井県において、森林の占める割合は県土の何パーセント程度でしょうか。

- ① 約55パーセント
- ② 約65パーセント
- ③ 約75パーセント

第2問 森林は、地球温暖化の原因となるある物質を吸収・貯蔵する働きがあり、地球温暖化防止に大きく貢献しています。ある物質とは、次のうちどれでしょうか。

- ① 二酸化硫黄
- ② 二酸化炭素
- ③ 一酸化炭素

第3問 多様な機能を持続的に発揮できる元気な森林づくりに欠かせない作業の一つとしてあげられるのは、次のうちどれでしょうか。

- ① 討伐
- ② 間伐
- ③ 皆伐

環境クイズ応募要領

★方 法 / 答えを官製ハガキに記入の上、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、性別および本紙の感想を書いて、当協議会まで郵送してください。

★締切日 / 平成20年9月30日 (当日消印有効)
全問正解者の中から抽選で5名の方に、図書カードをお送りいたします。

【応募先】 〒910-8580

福井県庁内 環境ふくい推進協議会

前回解答

- 第1問 ② 約17センチメートル
第2問 ① 約20%
第3問 ① エアコンの設定温度を、夏は低めに、冬は高めに設定する。

環境クイズプレゼントの当選者発表は、発送をもってかえさせていただきます。

始めよう夏のエコ 今年の夏はCOOL BIZ+!!

COOLBIZ

プラス

- お買い物にはマイバッグ
- マイ箸を使用する
- マイカップを利用する
- 土1層は階段を利用する
- 書類は両面コピーにする
- 歯磨きのすぎはコップを使う
- 外出にはバスを利用する
- 外出には電扇を利用する
- 部屋の灯りはこまめにON-OFF
- リサイクルでゴミを削減する

環境省では、クールビズがスタートして4年目となる今年、これまでのクールビズにさらに、今年ならではの温暖化防止アクションを一つプラスする新習「COOL BIZ+ (クールビズプラス)」を提案しています。オフィスに限らず、全てのライフシーンで実施していきましょう!!

↓ COOL BIZ に関する情報はこちらから ↓
<http://www.team-6.jp/cool2008/>



福井県からのお知らせ

ゴミを減らしリサイクルを進めることについて、絵手紙、標語を募集します。

スリーアール

「3R推進メッセージ」募集

～この機会に3Rについて考えましょう～

3R (スリーアール) とは、ごみを出さない「リデュース」、使えるものは繰り返し使う「リユース」、資源として再利用する「リサイクル」の3つの頭文字をとったもので、資源を大切にするための行動を表しています。



【募集内容】	「食べ残しをしない」、「マイバッグを使う」、「ポイ捨てをしない」等ごみの減量化やリサイクルの促進に関するもの
【募集作品】	◎絵手紙部門 (絵と文字の組み合わせ 文字数は31文字以内) ・ 大きさ: 普通はがき、または同サイズ (15cm×10cm) の用紙 ・ 製作方法: 絵の具や色鉛筆など自由 ※ 写真、パソコンでの作品は不可 ◎標語部門 (川柳等も可、文字数は31文字以内) ・ はがき、FAX、電子メールによる
【応募資格】	県内に在住または通勤・通学されている方
【応募方法】	作品 (絵手紙は作品の裏面) に、氏名 (ふりがな) ・住所・電話番号、小学生・中学生・高校生は学校名・学年、一般の方は年齢を明記の上、応募してください。
【応募締切】	9月8日 (月) (当日消印・送信有効)
【表彰】	・ 最優秀賞 1点 賞状・副賞 (1万円相当) ・ 優秀賞 1点 賞状・副賞 (5千円相当) ・ 佳作 3点 賞状・副賞 (3千円相当) ※各部門の小学生の部、中学生・高校生の部、一般の部ごとに表彰します。
【応募先・問い合わせ先】	〒910-8580 福井県安全環境部廃棄物対策課 リサイクル推進室 ☎: 0776-20-0382 FAX: 0776-20-0679 E-mail: haitai@pref.fukui.lg.jp URL: http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/haitai/

編集後記

暑い日が続きますが、みなさん、冷房の効いた部屋にばかりいて、体調を崩していらっしゃいませんか?
夏こそ、今回のテーマである「森」へ足を運んでみてはいかがでしょうか? 木々が日光を遮ってくれるため驚くほど涼しく、木の葉の揺れる音が、耳に心地よく響きます。また、夏は森のかおりも一層濃くなります。ゆっくり深呼吸すると体も心も浄化されるようです。